

《担当者名》○守田 玲菜 r-mori@hoku-iryo-u.ac.jp 加藤 幸紀(歯) 西 基 濱田 淳一 高橋 亮

【概要】

科学としての医学の成立過程、生命の成り立ち、病気の成り立ち、口腔の健康、内科学から見た疾病、医療倫理、生命倫理、医療過誤、医療経済、予防医学など、医療・医学・福祉のベースとなる課題を学ぶ。

【学修目標】

医療・福祉の担い手を目指すものとして現状と課題を理解するために、科学としての医学の成り立ちと歴史、生命科学が求められているもの、特に医療現場で問題となる事象を学習して、これに対応できる力を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医療の実際	健康とはなにか	高橋
2	医療事故、医療過誤	医療の社会的問題点	西
3	医療経済など	医療と経済	西
4	Gerontology	学際的社会福祉における生活の質・生きがい研究と今後の課題	高橋
5	遺伝子について考える	進化と病気	濱田
6	遺伝子について考える	DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) という考え方	濱田
7	歯科学について	全身と歯周病との関連	加藤
8	歯科学について	口腔ケア	加藤
9	医療現場での倫理	薬害について	井上昌和(特別講師)・守田
10	医療の実際	医学はどのように発展してきたのか	守田
11	医療の実際	医療・福祉・地域社会のつながりとシステムを理解する～その1	中梶慎太郎(特別講師)・守田
12	医療の実際	医療・福祉・地域社会のつながりとシステムを理解する～その2	守田
13	医療過誤	ワクチン接種によるB型肝炎ウイルス感染	小田嶋真悟(特別講師)・守田
14	医療の実際	医療とはだれのものか	守田
15	医療の実際	災害医療について考える	守田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート(100%)

講義の中から一つを選び、1200字程度で講義の感想や講義を受けて考えたことなどをまとめる

【参考書】

学生のための医療概論第4版・小橋元 他・医学書院(守田単独担当回で使用します)

【備考】

適宜、資料は配布もしくはGoogle Classroom内で共有いたします。

【学修の準備】

次回の授業範囲を見て専門用語の意味等を教科書やインターネットなどで確認して理解しておくこと(予習復習1時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4:保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

加藤幸紀（歯科医師）、西 基(医師、日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家)、守田玲菜（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

病院での歯科医師としての実務経験を活かして、実践的教育を行う。

日本公衆衛生学会認定公衆衛生専門家としての実務経験を活かして、実践的教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している